

初春令月
淑風和氣



會報

二華會
第49号
2020.3.1

『万葉集』巻五「梅花の歌」序文（大伴旅人）より



ご挨拶

“令和元年を迎えて”

二華会会長 眞壁孝子

早春の候 皆様にはお健やかに過ごしのことと存じます。地球環境が大きく変化している今日、想定外の気象現象が起っています。温暖化で年々激しさを増して行き、日本全体での防災力が必要になっているように思われます。台風15号や最大と言われた台風19号等、その後の記録的な豪雨により地滑りや川の氾濫で大洪水が起り、甚大な被害が発生しました。遭遇された方々には心よりお見舞い申し上げます。

二華会活動について、今年度は役員改選（平成31年4月～令和4年3月）の年で、本部役員・各学年幹事・専門部員の方々には、二華会の伝統を重んじながら、英知を發揮して、お互いに思いやりを持って、和やかに活動して頂いております。只、活動の決定権を持つ二華会総会には、年々若い世代の参加者が少なくなっています。物価や人件費の値上がり等で、ホテルの支払いも嵩み、総会参加費を500円値上げて頂きました。更に消費税の値上げで、再度値上げせざるを得ない状態になっています。又総会当番の活動補助費も値上げを要求されております。これは皆様が納めて下さる年会費の一般会計の中から出ています。どうぞ年会費を



アジサイの花

校長 やまうち ほん き 樹

校長室からは、窓越しに季節の花を楽しむことができます。シラウメ、ベニウメ、サクラ、ドウダン、ハクレン、クチナシ、ナツツバキ、キョウチクトウ、サルズベリ……、先人が残してくれた宝物に感謝しなければならない。数年前に植えたアジサイが初めて花をつけた。早速、集会で報告すると生徒の反応がどうもおかしい。アジサイの花を知らないわけではない。花に興味がないというでもない。どうやら多くの生徒は花が咲いていることに気づいていなかったようだ。咲いている場所は、校門を通過してすぐ左手にある植え込みの中。生徒は、朝も帰りもその前を通過していた、視界に入っていないわけがない。それでも、多くの生徒には見えていなかった、気づいていなかったということになる。

視界に入っても気づかない。実はこれは珍しいことではな

忘れずに納入下さいますよう、会員同志お声掛け下さいますよう皆様の更なるご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

母校支援につきまして、男女共学の仙台二華中学・高等学校となって早10年になります。昨年からの猛暑により、吹き抜けの素晴らしい校舎ですが、教室は40℃以上になることもあり、エアコン設置が問題となりました。高校は県からの補助がないため、学校とPTAと二華会の間で話し合い、母校の志支援金としておりました二華会館建設時の残金を、設置費の一部として利用する事になりました。その結果、令和元年7月より使用できるようになりましたことをご報告申し上げます。

世間に目を向けますと、今年も日本人の快挙です。吉野彰氏がノーベル化学賞を受賞。スマートフォン、パソコン、携帯電話などに使用されている「リチウムイオン電池」充電できる小型電池の開発に成功され、人類の生活革命に貢献された受賞でした。素晴らしいですね。

身近なところでの快挙は、高40回生の梅津理恵さんが優れた女性科学者に贈られる「ハーフメタル」研究で第39回「猿橋賞」を受賞されました。おめでとうございます。これも素晴らしいお知らせです。

最後に日本各地に起きている災害はまだ続いています。どうぞ危機意識を持ってご自分の身を大切に、お健やかに過ごしてくださいようご祈念申し上げます。ご挨拶といたします。

い。なぜなら人は、視界に入っているものすべてが見えているわけではないからだ。すこし別の言い方をすれば、人は意識して見ようと思わなければ見えないものがある。意識して気づこうと思わなければ気づけないことがある。すなわち、努力しなければわからないことがある。集会後、植え込みの前を通るとき、何人かの生徒は、花を確認することだろう。それは、朝学校に来るときには見えていなかったものが、帰りには見えるようになっていたということであり、それだけ成長したことになる。成長とは、今まで見えなかったものが少しだけ見えるようになる、今までできなかったことが少しだけできるようになる、今まで気がつかなかったことに少しだけ気づけるようになる、ということ。日に新た。生徒は一見単調な毎日を繰り返しながら、日々成長しているのだ。

草木は、まもなく実りの季節を迎える。二華の生徒も、ここからは、それぞれの歩みで、自分づくりに取りかかる。どんな実りの姿を見せてくれるのか大変楽しみだ。

（令和元年度二華会総会挨拶改）

二華会入会式 平成31年 2月28日

卒業式前日に二華会入会式が行われ、平成30年度は、華9回生235名が正会員として入会しました。学年幹事2名と各クラス幹事12名に眞壁会長より委嘱状が授与されました。フレッシュな皆様方をお迎えし、卒業を祝して本会より卒業証書ホルダーが全入会員に贈られました。



卒業証書ホルダー贈呈

入学式 平成31年 4月5日

中学生104名、高校生240名が晴れやかに仙台二華へ入学しました。本会から入学祝いとして校章(バッジ)が寄贈されました。

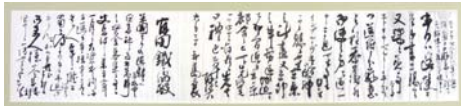


眞壁会長より校章(バッジ)を贈呈

校史パネル展

事業部

平成31年 4月10日～令和元年 6月4日
伝統ある母校の歴史を伝えるパネル展が創立記念日(5月7日)にあわせ開催されました。今年の日玉は、初めて展示された新島襄が富田鐵之助(母校創設の父)に宛てたお礼の手紙(写し)です。パネル展開催の経緯は、特集記事(12面)を参考にしてください。



新島襄が富田鐵之助に宛てたお礼状(写し)



二華会関係者と記念撮影

同志社宮城県支部のご好意により二華会関係者が多数参加させていただきました。大宗匠は、96歳という年齢を忘れてしまう程お元気で、張りのあるお声で心にしみ入るご講演をしてくださいました。特に印象深かったのは、特攻隊の仲間が飛び立つ時にお抹茶を呈された時のお話です。誰もが「お母さん」と言って飛び立ったとの事でした。その様なご経験がありがたいからこそ強く平和を訴えられるのだと思えました。感謝の心を持ち思いやりの気持ちは忘れずにいる事は、本当に大切な事だと改めて感じました。



千玄室大宗匠

講師 裏千家15代前家元 千玄室 大宗匠
参考 玄室氏の母・千嘉代子氏は東華8回生、茶道裏千家14代家元淡々齋に嫁いだ。女性初の仙台市名誉市民。

同志社宮城支部主催 令和元年6月15日(土)アエル仙台にて
「千玄室大宗匠 講演会」

歳時記

～ 活発な二華会活動 ～

定例常任幹事会・定例幹事会

令和元年 6月8日
午前中に定例常任幹事会、午後から定例幹事会が行われ、各議事について活発に協議が行われました。総会準備委員長より9月の二華会総会のご案内と参加協力依頼がありました。

連坊町内会七夕まつり参加

令和元年 8月6日～8日
初参加は平成24年、以来毎年参加し今年で8回目を迎えました。今年は銀賞に輝きました。織り姫たちはワンチームで頑張っています。



二華笑市

事業部

令和元年 8月31日・9月1日
母校文化祭に参加しミニバザーを開催する事が恒例となりました。今年の新企画、高校生までが参加できる「つかみ取りコーナー」には、多数の生徒たちが参加してくれました。楽しい交流の場が誕生しました。



令和元年度二華会総会

総会部

令和元年 9月7日(土)
ホテルメトロポリタン仙台に於いて開催されました。詳細は2面をご参照ください。

二華会支部長会 令和元年 9月7日(土)

12支部のうち仙台、岩沼、亘理、東京の4つの支部で支部長の世代交代があり、少々若返りました。新支部長の方々が新風を吹き込み活発な情報交換が行われました。今までご尽力くださった支部長の皆様ありがとうございました。

二華のひなまつり ひいなりの会

平成31年 3月1日～3日 一般公開
平成31年 3月3日 ミニコンサート
明治45年から伝わる古今雛をはじめとし、江戸・明治・大正・昭和・平成のおひなさまを展示しています。お抹茶・手作り品・折り紙の各コーナーも大盛況で、二女高音楽部OG合唱団によるミニコンサートも大好評でした。



「後の雛」飾り 令和元年10月



雛人形を重陽の節句で飾り、健康、長寿、厄除けなどを願う習慣。人形の虫干しを兼ねるといふことで、江戸時代後期に広まった。俳句の季語にもなっている。

トピックス
「猿橋賞」に梅津理恵さん(高40回)
東北大学准教授 ハーフメタルで業績

優れた女性科学者に贈られる第39回「猿橋賞」に、東北大金属材料研究所准教授の梅津理恵さん(高40)が選ばれ、令和元年5月に都内で贈呈式が行われました。

梅津さんは15年以上の研究の末、金属と半導体の性質を持ち合わせた「ハーフメタル」と呼ばれる特殊な合金で高品質の結晶を作ること成功し、その業績が認められました。将来的には、パソコンの記憶容量の大幅な向上や消費電力を抑える効果への応用が期待されています。

高校時代はテニス部に所属し文武両道を実践し、科学者となつてからは3人のお子さんを育てながら研究と家庭の両立に励まれました。その奮闘の様子は、二華会創立110周年記念誌「響き」にも寄稿されていますので、ぜひお読みください。また、総会当番学年の際には、会報編集担当としてご尽力下さいました。

二華会・お宝探訪 その2 校史パネル展

毎年5月7日の創立記念日に合わせて、仙台二華中学校・高等学校の1階エントランスで歴史パネルを使って、東華高等女学校・二高女・二女高・仙台二華と続く母校の歴史を振り返る校史パネル展を行っています。入場は無料で、今年度は4月から約2か月展示され、卒業生は勿論、多くの在校生や保護者の皆さんにもご覧いただき好評を得ています。

そもそも、このパネル展は2001年(平成13)に二華会が母校文化祭で「輝きの東華時代を偲ぶ」というパネル展を行ったことに端を発します。翌年2002年(平成14)文化祭で「かくはしき二高女時代」と題したパネル展を行い、2004年(平成16)には仙台メディアテークを会場として大々的に、母校創立100周年記念パネル展示会を開催し、母校の歴史を広く紹介することが出来ました。その後、その時に作成された多数のパネルは、校舎新築のための仮校舎への移転を経て現在の仙台二華となっても大切に保管され続けています。

それらのパネルが再び日の目を見ることになったのは、2014年(平成26)の母校創立110周年記念の時でした。100年以上も続く歴史を在校生にも知ってもらいたい、大切な歴史パネルをこのまま眠らせてはいけないという思いで、10年振りに校史パネル展を再開しました。その後は仙台二華中・高となってからのパネルも追加して毎年、二華会事業部の尽力で校史パネル展が続いています。

次年度は、令和2年4月14日～6月2日の予定です。どうぞぜひお越しください。

2019年度 校史パネル展より



東華高等女学校
(明治37年～大正10年)



宮城県第二高等女学校
(大正10年～昭和23年)



宮城県第二女子高等学校
(昭和23年～平成22年)



仙台二華中学校・高等学校
(平成22年～)



机と感想文
(東華・二高女時代使用の机)



会場全景



見学する生徒達



二女高人文字

ります。感謝いたします。



編集後記
平成元年に入学した私達高44回生が当番学年となった今年度は令和元年。8名の広報担当は二華会の歴史の重みを感じつつも気持ちは高校生に戻って楽しく活動することができました。先輩方のご協力のおかげでこの会報が無事発行できることを心より感謝いたします。

令和2年度二華会総会のご案内

日時：9月19日(土) 11:00～14:00

場所：ホテルメトロポリタン仙台

会費：7,500円(予定)

当番学年高45回生(H5年卒)

サブ当番高55回生(H15年卒)、華9回生(H31年卒)

皆様のご参加をお待ちしております。

総会部

46歳で回ってくる総会当番は、懐かしい母校と再会するきっかけ。総会部には当番を機に改めて二華の魅力にとりつかれた面々が集い、当番学年をサポートします。同時に、当番の方々から学ぶことも多く、刺激になります。ぜひ総会にご参加ください。